



(こども版) としょかんだより No.287

2008年

3月号

# わくわく本だな

富山市立図書館

## 今月のおすすめ



= 1・2年  
= 3・4年  
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -

「 しょう太とねこのサーカス 」(えほん) かわかみ 味智子 / 作 大日本図書



しょう太は、大ねこにニボシをあげました。お礼に今夜ひらかれるサーカスのにゅうじょうけんをもらいます。  
真夜中、公園に行くときのようにうごくぶきみなテントの前で、たくさんのねこがサーカスのはじまりをまっていた。

「 もりのゆうびんポスト 」 原 京子 / 作 そうえん社

まゆは、森で『ゆうびんポスト』をみつけました。「だれでもどうぞもりのともだちより」とかいてあります。まゆがてがみをポストにいれると、つぎの日『まゆちゃんへ』とかかれたへんじが入っていました。もりのともだちってだれなんでしょう？



「 耳の中のアブ 」

ただの ゆみこ / 作 国土社



キリコの耳に、とつぜんアブが飛びこんできました。耳の奥にできた「心耳袋」に閉じこめられて出ることができないと言うのです。それからキリコは、友だちやお父さんの心の声がきこえるようになりました。心耳袋を持つ人は、人の心の声をきくことができるのです。

# あたらしくはいった本

えほん

「テンサイちゃんとロボママ」サイモン・ジェームズ / 作 小学館



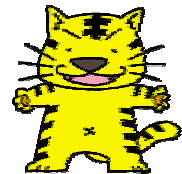
テンサイちゃんはびっくりするほどあたまのいい赤ちゃんです。ある日、お母さんのためにロボママというロボットを発明します。料理や洗たくをしてくれるべんりなロボットのはずでしたが、何だかおかしいことになってきました…！

ものがたり



「とんぼの島のいたずら子やぎ」 バーリント・アーグネシュ / 作 偕成社

子やぎのギダはやんちゃでいたずらっ子。とんぼ島でやさしいママと楽しくくらしています。そこへサーカスをやめたトラがひっこしてきました。遊び場のポート小屋をとられたギダはおもしろくありません。そこで、トラを追い出してやろうといたずらをしかけます。



## ともだち だ～れだ？

おはなしの主人公あてクイズ

ぼくはぞくぞく村に住んでいるがいこつのガチャ。

ぼくの友だちをあててね。

かのじよは、どろのおけしょうが大すきで、いつも顔をまっ黒にしているよ。でもほんとうは、まっ白の顔にしんじゅのような歯がきらめいていて、とってもすてきなんだ！

ぼくの友だち、だれだかわかる？



(こたえは、さいごのページにのってます)

## ものがたり

「 無人島で、よりよい生活 ! 」

いしい ゆみ / 作 岩崎書店



ぼくのお母さんはテレビショッピングが大すき。でも健康ぶらさがり器や家の中でこぐ自転車を買っても、すぐにあきてしまう。そんなお母さんが今度は無人島を買ってしまったんだ。電気や水道がひいてあるから安心だという島でぼくたちの生活が始まった。

「 ポティラ 」

コルネーリア・フンケ / 作 WAVE 出版



アーサーは森で靴下くつしたを拾います。中から出てきたのは小さな妖精ようせいの女王ポティラ。妖精おかの丘ひみつの秘密を知る男に赤い帽子ぼうしをうばわれ、魔法まほうの力を失っていました。アーサーは、ポティラから帽子と妖精の丘を取りもどすのを手伝って欲しいとたのまれます。

## ちしきの本

「 知っておきたい子どものアレルギー

食物・その他のアレルギー 」

汐文社



ある食べ物を食べることによって体の具合が悪くなることを「食物アレルギー」といいます。この本はアレルギーのしくみや、注意点についてわかりやすく解説かいせつしてあります。アレルギーのことをよく知り、毎日元気にすごしましょう。

「 カカトアルキのなぞ 」

東城 幸治 / 作 新日本出版社



2002年4月、南部アフリカで新しい昆虫が発見されました。名前は“カカトアルキ”。顔はカマキリ、体はナナフシににています。足のつま先をあげて、かかとで歩く肉食の虫きびです。厳しい自然の中でくらす不思議な昆虫の生態がわかります。

名作をよもう！

今月の1さつ



「チョコレート工場の秘密」

ロアルド・ダール / 作 評論社



チャーリーの家の近くに、世界一有名なワンカ氏のチョコレート工場がありました。しかし、工場は謎に包まれ、誰も働く人の姿を見たことはありません。そこへ子どもが5人招待しょうたいされることになりました。招待状は、チョコレートの包み紙にかくされています。世界中の子どもたちが招待状欲しさにワンカ氏のチョコレートを買いました。5枚目の招待状を手にいれたのはなんとチャーリーでした。チャーリーたちは、工場に足をふみ入れます。

れきし じんぶつしょうかい



第10回 < ショパン >

生年月日 1810年

出身地 ポーランド

“ピアノの詩人”といわれるショパンは、幼いころから、たいへんな才能を持っていました。8才のときにはじめて演奏えんそうかい会を開き、絶賛ぜっさんされます。その後、パリでたくさんの芸術家たちと親しくなりました。多くのピアノ曲を作り、演奏家としても人気がありましたが、39才という若さで病気のため亡くなりました。「子犬のワルツ」「別れの曲」などが有名です。



クイズのこたえ

“ゾンビのピシヨピシヨ”です。

いろいろなおばけどうじょうが登場する「ぞくぞく村のおばけシリーズ」は14巻あります。

読んでみてね。

(末吉暁子 / 作 あかね書房)



< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7272